

本市では市内の公立小中学校において小中一貫教育を推進しています。毎月15日号で各中学校ブロックでの取り組みをご紹介します。

問 学校教育課 ☎88・2762



水野中学校ブロックでは、「夢をもち、社会を『生き抜く』ことのできる、実践的な態度を備えた『人』を育てる。」という目標を掲げ、小中一貫教育に取り組んでいます。

教科指導の連携

専門性を生かした教育活動の連携として、今年度は中学校の美術教師が小学校を訪れ、6年生の図工の時間に版画や陶芸などの指導を行いました。

また、昨年度の夏休みには3校の教職員が集まって「水野の歴史」について学び、その後、教科ごとに分かれて研修を行いました。それぞれの教科書を持ち寄り、小中の学習の流れを確認したり、効果的な指導法について話し合ったりしました。



※令和元年度の研修



学区の防災を考える

水野学区の防災について、小学生から継続して考えることのできる児童生徒の育成を目指し、防災教育に取り組みました。

今年度は、西陵小学校、水野小学校の4年生と6年生、水野中学校の1年生が防災教室を行い、防災の観点からみた地域の特性や、非常時に生き延びるための実践などを教えていただきました。学んだことを家庭で話すことが、地域の防災につながっていくという言葉が印象的でした。

部活動を通しての連携

部活動の交流では、吹奏楽部やバスケットボール部、サッカー部の小学生が中学校を訪れ、合同練習を行いました。中学生に教えてもらいながら、部活動の技術向上に向けて活動しました。



水野ブロック小中連絡会

3校の校長と教務主任が定期的集まり、小中一貫教育実施に向けての計画について話し合いをしています。新型コロナウイルス感染症の影響で休校になったことによる授業の進め方についての情報交換も行いました。